

事務事業名		伊那谷文化史資料調査研究事業		会計		一般会計		実施区分			
H28担当課等名		美術博物館		H28係等名		学芸係		H27係等名		学芸係	
基本計画上の位置づけ		政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり							
		施策	61	地域資源の発見・資産化							
目的	対象(誰・何を)	1 伊那谷を中心とした人文分野		対象指標	指標名及び単位			27年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	1 収集した資料を、研究・整理して成果を公表する			飯田下伊那地域の面積(平方キロメートル)			2262.6			
	向上させたい上位施策の成果指標	見いだされた地域資源の数(累計)									
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	調査した資料の数(点)			50	50	50	-			
	成果指標	蓄積・登録した資料の総数(点)			14148	14148	14198	-			
定性目標											
事業概要	<p>1 伊那谷の人文に関する資料及び情報を継続的に収集、整理、研究活動を行う。</p> <p>2 調査活動は「飯田市地域史研究事業」の一環として位置づけ、その成果を特別展や特別陳列、図録や報告書、映像等で還元する。</p>										
27年度事業内容	事業内容				名称				活動指標		
	1 伊那谷の人文に関する調査研究の実施				1 調査対象件数				1 20カ所		
	2 資料の収集、整理及び登録				2 登録件数				2 15件		
	3 貴重資料の修復				3 修復資料数				3 4点		
	4 映像記録の整理				4 撮影・データ化した映像数				4 2件		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		4,219	4,131	3,654	4,120	(そ) 諸収入					
国庫支出金					0						
県支出金					0						
起債					0						
その他		150	515	515	150						
一般財源		4,069	3,616	3,139	3,970						
人件費計(千円)②		0		0							
正規職員所要時間											
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		4,219	4,131	3,654	4,120						
事業内容・目標達成状況の振り返り	飯田のお練り祭りについて復元図を掲載した報告書が作成できた。また、飯田上飯田の民俗の第2次調査に向けて準備を開始した。										
改革改善の考え方	①問題点	平成26年度予算は調査報告書等の刊行費用がゼロであり、今後の活動が鈍化してしまう。開館以来の調査研究の蓄積が十分に市民に還元されていない。									
	②改革提案	資料整理を着実に進めていく。常設展示の大規模更新でなく、まずは更新企画展を平成29年度に開催することで、成果を常設展示化する。									